

私たちの「仲間たち」

288

持ちつ持たれつ

年が改まって春とはいえ、季節は冬の真っ只中です。野山も緑が最も少ない時期で、冬枯れの植物ばかりが目立ちます。しかし、陽だまりになっている南向きの斜面などでは、暖かくなるのをじっと待ち、寒

さに耐えている植物を見つけていることができます。その中の1つがヨモギです。

て、邪魔者の植物なのに、今頃は薄緑の柔らかい芽を地面に広げています（写真右）。この芽を摘んで餅や団子に入れて、草餅や草団子にして春の香りを楽しむことができます。そのため、芽生えのころのヨモギは結構知られていて、あぜ道などでヨモギ摘みをする様子を見かけることがあります。芽生えだけで植物の名前を当てるのは難しいのですが、ヨモギは別で、むしろ花の咲いている時期のヨモギの方が一般には知られていないようです。お灸もぐさに使うモグサは夏に、ヨモギの葉裏に生えている毛を集めて精製したものですし、全体を刈り取って干し、薬草として入浴にも用いられることもあまり知られていません。

日当たりの良い草地に生える多年草で、日陰になると途端に元気がなくなってしまうため、人里以外ではあまり見かけません。人間はヨモギを薬用にしたり、食べたりもして利用しますが、ヨモギの方も人間に寄りかかって生きている植物のような気がします。

（写真・文 中澤利雄）

▼鳩山の動植物 ヨモギ (キク科)



人口と世帯

12月1日現在、()は対前月比		
人口	14,725人	(-19)
男	7,273人	(-13)
女	7,452人	(-6)
世帯	5,819世帯	(±0)
11月の出生数	3人	

1月の納税・納付

町県民税	(第4期)
国民健康保険税(普通徴収)	(第7期)
介護保険料(普通徴収)	(第7期)
後期高齢者医療保険料(普通徴収)	(第7期)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

編・集・室

▼本号より新しい年を迎えました。広報紙づくりにも、何か新しいことをと思いながらも月日が過ぎてしまいました。

前号の500号発行の際にも触れましたが、過去の広報紙には町の歴史も刻まれています。そこで、今月号から、広報写真で町の歴史を振り返るミニ企画を実施します。

今回は、本号でもお伝えした鳩山駅伝大会の第1回の写真です。冬の風物詩のひとつもなっている駅伝ですが、鳩山駅伝は30年前に始まりました。

広報写真で振り返る町の歴史 ①



昭和59年3月4日
第1回鳩山駅伝大会
開催
12kmのコースで行われ、22チームが健脚を競い、友情を深めた様子が伝えられています。【昭和59年4月(No.139)号より】